

報道関係各位 <お知らせ>

阪急阪神ホールディングス株式会社

環境と子どもたちの未来のため、従業員とともに沿線の市民団体を応援！
「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」第7回助成プログラムを実施しました。

「地域環境づくり」と「次世代の育成」分野の課題に取り組む合計14団体に総額840万円を助成
～今回を含めた7年間の助成の累計は、81団体・4,070万円になりました～

阪急阪神ホールディングスでは、「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」市民団体助成プログラムとして、第7回助成対象団体を昨年9月より募集し、選考を進めてきました。この結果、今年度の応募総数84団体の中から「地域環境づくり」と「次世代の育成」分野の課題に取り組む合計14団体に対し、総額840万円を助成することを決定しました。助成対象団体に対しては助成金による支援のほか、広報面でも協力を行い、活動を応援します。



私たちは、未来へつなぐ
「環境づくり」と「人づくり」に貢献します。

この助成プログラムは、グループ従業員の募金と当社の上乗せ寄付を原資に、沿線の市民団体に助成するもので、「未来にわたり住みたいまち」づくりに向けたグループ社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」の一環として、2009年より実施しています。今回の助成分を含めて、過去7年間の助成の累計は81団体、4,070万円となりました。今後も市民団体の支援を通じて沿線地域の活性化に貢献できるよう、この助成プログラムを継続していきます。

第7回助成対象団体および「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」市民団体助成プログラムの概要は、次のとおりです。

■第7回助成対象団体 14団体（分野別 団体名50音順）

【地域環境づくり】

- ①NPO法人 芥川倶楽部（高槻市）
- ②大山崎ふるさとガイドの会（大山崎町）
- ③特定非営利活動法人 花と緑のネットワークとよなか（豊中市）
- ④NPO法人 みのお山麓保全委員会（箕面市）
- ⑤武庫川がっこう（宝塚市）

【次世代の育成】

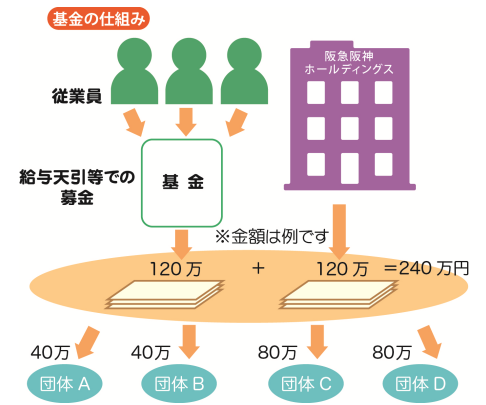
- ⑥特定非営利活動法人 あっとすくーる（箕面市）
- ⑦特定非営利活動法人 NPOクワガタ探検隊（池田市）
- ⑧こらぼれチップス（吹田市）
- ⑨特定非営利活動法人 支援機器普及促進協会（長岡京市）
- ⑩特定非営利活動法人 児童虐待防止協会（大阪市）
- ⑪特定非営利活動法人 多文化共生センター大阪（大阪市）
- ⑫特定非営利活動法人 日本クリニクラウン協会（大阪市）
- ⑬認定NPO法人 箕面こどもの森学園（箕面市）
- ⑭ワールドキッズコミュニティ（神戸市）

■助成金総額

840万円（内訳：従業員の募金420万円、当社からの上乗せ420万円）

※助成金は、2016年3月29日に寄贈済みです。各団体への助成額は添付資料をご参照ください。

- 「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」市民団体助成プログラムとは
 阪急阪神ホールディングスグループ従業員の募金による積立金と当社からの同額の上乗せ寄付を原資として、「地域環境づくり」または「次世代の育成」の活動に取り組む沿線の市民団体を助成します。プログラムの特徴は、①助成対象を阪急阪神沿線で活動する団体に特化、②助成金の使途自由、③助成金の半額がグループ従業員の募金によることの3点です。現在、約1,300名のグループ従業員が参加しています。



(ホームページ: <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/kikin.html>)

■「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」市民団体助成プログラムにこめた思い

どのまちにも社会課題の解決に熱心に取り組む市民団体はありますが、その多くは規模が小さく、認知度も低いことからボランティアの人材がなかなか集まりません。また、活動を応援したい気持ちを持つ人でも、知らない団体に寄付することにはためらいがあるため、市民団体の活動資金は不足しがちです。

この助成プログラムでは、市民が身近な市民団体を応援するきっかけとなるよう、グループ従業員の募金を原資の一部とした助成を行うとともに、グループが持つ交通媒体等を利用して助成対象団体の活動を広報し、沿線の市民に紹介しています。

以上

【添付資料】第7回助成対象団体の概要

【リリース配布先】青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ

このお知らせに関するお問い合わせ先

阪急阪神ホールディングス株式会社 グループ経営企画室 広報部 TEL. 06-6373-5092

第7回助成対象団体の概要 ※分野別50音順

■地域環境づくり

	団体名	活動概要	助成額
①	NPO法人 芥川倶楽部 (高槻市)	～アユをシンボルとした豊かな川づくり～ 高槻市の一級河川である芥川において、豊かな生態系の回復を目指して活動している。大阪湾から淀川を経て芥川を遡上する天然のアユをシンボルに掲げ、魚道づくりやアユの遡上調査等を通して豊かな川づくりに取り組んでいる。また、地域の人々の芥川に対する関心を高めるため、川のクリーンアップ活動や特定外来生物に指定されている水草の駆除活動、川辺の生物の観察会などのイベントを開催している。	40万円
②	大山崎ふるさとガイドの会 (大山崎町)	～地域の魅力を伝え広めるボランティアガイド～ 大山崎町への訪問者のためのボランティアガイドに取り組む団体。活動拠点である「大山崎町歴史資料館」には会員が交代で常駐し、入館者のガイドを行っている。また、各種依頼に応じて、天王山をはじめとする町内の名所、寺社、文化施設を巡るガイドツアーも実施している。このほか、ガイド養成講座や学習会を定期的に開くなどして、ボランティアガイドの増員やスキルアップにも取り組んでいる。	40万円
③	特定非営利活動法人 花と緑のネットワークとよなか (豊中市)	～資源循環たい肥を活用した環境活動～ 資源循環型の地域社会を目指して活動しており、給食の食べ残しと街路樹の剪定枝等からたい肥を製造する、資源循環システムを豊中市に提案した。これを受けて豊中市が2002年から製造を開始した資源循環型たい肥「とよっぴー」を、同団体が公立小中学校の花壇や菜園用に配布したり、農業体験・環境学習イベントに活用することで、まちぐるみの環境活動に取り組んでいる。	40万円
④	NPO法人 みのお山麓保全委員会 (箕面市)	～官民一体で取り組む箕面の山麓の保全・活用～ 山林の保有者だけでは維持が難しくなっている箕面の山麓の保全・活用に、市民・山林所有者・行政のそれぞれが主体的に参加していけるよう、様々な面から箕面山麓保全を支援している。市民の主体的な活動を支えるためにHPや情報誌で各種情報を発信したり、相談会を開催して山林所有者の悩みに応えたり、里山管理に関する講座を実施して里山保全に携わる人材を育成したりと幅広く活動を行う。	80万円
⑤	武庫川がっこう (宝塚市)	～武庫川の保全・活用・情報発信～ 武庫川を「守り」「育て」「活かす」「学ぶ」をキーワードに、武庫川と周りのまちの魅力を発信するための諸活動に取り組む団体。武庫川流域の自然・歴史などの探訪ツアーや、武庫川の魅力の再発見につながるスケッチ作品展を企画するほか、稀少植物の保護も行う。また、子ども向けの環境学習・体験学習なども実施しており、幅広い世代が武庫川とまわりのまちに親しみを持つきっかけを提供している。	40万円

■次世代の育成

	団体名	活動概要	助成額
⑥	特定非営利活動法人 あっとすくーる (箕面市)	～ひとり親家庭の子ども達も通いやすい学習塾の運営～ 経済的に困難な状況にあるひとり親家庭の中高校生等を対象に学習支援を行う。個別指導・自習補助型の学習教室・家庭教師派遣と、状況に応じて選べる学習支援を実施し、行政からも事業を受託している。学習支援ボランティアを地元の大学生から募ったり、団体への寄付を原資とした返還不要な奨学金を設けたりして、活動の支援者の裾野を広げながら、子ども達の前向きな進路選択を支援している。	80万円
⑦	特定非営利活動法人 NPOクワガタ探検隊 (池田市)	～子ども達が昆虫や自然と触れ合うきっかけづくり～ 子ども達が生き物と触れ合う機会として、北摂の自然の中での生物観察イベントを企画するほか、昆虫を主人公とした紙芝居を制作し、地域の催しで上演して自然に親しむきっかけづくりを行っている。また、子どもが家庭で行うクワガタ・カブトムシの飼育体験の支援も実施。成虫から産まれた卵が孵化した時点で団体が引き取り、幼虫を元来の生息地である近隣の山に帰す取り組みも行っている。	40万円

⑧	こらぼれチップス (吹田市)	～親子の居場所づくりと子ども達に寄り添う電話相談～ 子育て広場を運営し、未就学児とその親の居場所づくりや交流支援を行っている。また、子ども達の気持ちに寄り添うため、子ども専用の無料電話相談「チャイルドライン」事業にも取り組んでおり、全国にあるチャイルドラインの電話相談実施団体のひとつとして、北摂を中心に全国の子ども達からの悩み相談に応えるほか、地域の子ども達に対するチャイルドラインの広報も展開している。	40万円
⑨	特定非営利活動法人 支援機器普及促進協会 (長岡京市)	～情報機器による障がいのある子ども達の自己表現支援～ 障がいのある子ども達の可能性を広げるため、情報機器による支援に取り組む団体。それぞれに適した情報機器やアプリを活用することで、障がいのある子ども達の自己表現を支援できることを、支援学校等の要請に応じて各地で紹介している。また、子ども達が本当に使える情報機器を選べるよう、端末を家庭に貸し出して実際に試してもらった活動も行っている。	80万円
⑩	特定非営利活動法人 児童虐待防止協会 (大阪市)	～児童虐待防止のための啓発と親と子と関係者への支援～ 児童虐待の早期発見と防止のための各種活動を行う。発足当初から約25年間続ける電話相談に、虐待の当事者等から様々な相談が寄せられるなか、「虐待に傷つく子ども」と「虐待から抜け出せずに苦しむ親」の双方に寄り添い、他機関と連携しつつ、きめ細かなケアに取り組んでいる。このほか、子育てに悩む母親とその子どもが安心して集えるグループ作りを、保健センターなどの関係機関と共同で行う。	80万円
⑪	特定非営利活動法人 多文化共生センター大阪 (大阪市)	～外国にルーツを持つ子ども達の学習支援～ 国籍・文化等の違いを尊重しあえる「多文化共生社会」を目指して活動しており、その第一歩として、外国にルーツを持つ子ども達の支援等に取り組んでいる。学習支援教室では、子ども達やその親とも顔の見える関係を築きながら、日本社会で子ども達ひとりひとりが主体的に進路選択ができるようサポートする。このほか、外国人母子に向けて保健・就学等の情報を提供するなど、生活支援も行っている。	80万円
⑫	特定非営利活動法人 日本クリニックラウン協会 (大阪市)	～入院中の子ども達に笑顔を届ける臨床道化師～ 闘病生活中の子ども達に、笑顔で子どもらしく過ごせる時間を届けるため、小児病棟等への「クリニックラウン（臨床道化師）」派遣を行う。クリニックラウンとは、入院中の子ども達の病室を定期的に訪問し、遊びやふれ合いを通して笑顔の時間を引き出していく道化師のこと。大阪市内に拠点を置きつつ、全国の病院にクリニックラウンを派遣し、子ども達に笑顔になれる時間を届けている。	80万円
⑬	認定NPO法人 箕面こどもの森学園 (箕面市)	～主体性・自律性を育てるオルタナティブスクール～ 子ども達の主体性・自律性をのびやかに育てるため、一般的な学校教育とは異なる「オルタナティブ教育」を実施している。子ども達の主体的な学びを尊重する教育方針のもと、一律のカリキュラムではなく、子ども達自身の探究心にもとづいて定めた学習計画を採用しており、自ら立てた目標の中で、子ども達がそれぞれに知性・感性・創造性を育むことを支援している。	80万円
⑭	ワールドキッズコミュニティ (神戸市)	～外国にルーツを持つ子ども達の居場所づくり～ 外国にルーツを持つ子ども達が、自信を持ってのびやかに成長することのできる地域社会を目指して活動している。外国にルーツを持つ子ども達が受け身にまわるのではなく、自分たちの考えや気持ちを主体的に発信できるようにするため、居場所づくりと併せて、映像制作等による子ども達の表現活動の支援を行っている。また、学校生活・家庭生活に役立つ知識・情報の多言語での発信にも取り組んでいる。	40万円

※（ ）内の市名は団体事務所の所在地です。

※助成額は団体の申請に基づいて審査・決定しました。